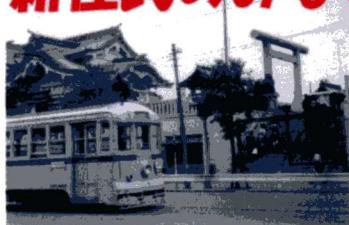


蛎殻町二丁目にお住まいのみなさん お知らせです。



蛎殻町を知る集い 其の式 開催

新住民のみなさん



昭和30年代の水天宮 撮影：有田芳男氏

地元のことモット知りたくありませんか？

昔からお住まいのみなさん

昔のことモット語って下さい！！

鼠小僧次郎吉が捕らえられた屋敷は、この近所にありました。

江戸情緒が今でも残り、戌の日の水天宮には多くの参拝客が訪れ賑わい、都心にありながら喧騒を感じさせない日本橋蛎殻町。昭和30年代までは、水天宮前から路面電車が走り、大川（隅田川）の支流、箱崎川で舟遊びを楽しむ人や、お昼を過ぎると芸妓さんの三味線の音色が聞こえていたそうです。私たち神田祭の運営を機に結成した蛎東椿会では、地元、日本橋蛎殻町の歴史や文化に触れ、改めて地元の良さを認識すると共に新住民とのコミュニケーションを図り、蛎東町会の発展に寄与できればと考え、平成16年2月に続き、当会が創立10周年を迎える記念事業として、改めて「蛎殻町を知る集い 其の式」を開催することといたしました。少しでも興味のある方、昔を知り伝えたい方、今に伝えたい資料をお持ちの方、是非ご参加ください。

記

1. 日 時

平成21年3月15日（日）午後3時から 語り部 約60分、その後懇親会を予定

2. 場 所

箱崎町コミュニティルーム 箱崎町22-8 (T-CAT 近く、首都高 箱崎ジャンクション高架下)

3. 内 容

「昔の日本橋人形町・蛎殻町を語る」 講師：有田芳男さん（郷土史研究家：人形町在住）

プロフィール：昭和4年人形町生まれ。理髪店経営 独学で郷土史を学び、昭和56年NHKラジオ「人生読本」出演を機に学校などで歴史について数多くの講話をを行い、語り部の第一人者として現在も活躍中。昨年6月には、日本橋図書館において15年ぶり4回目の写真展を開催した。

4. 参加費

お一人 千円 資料代及び懇親会費

5. 協力 蛎東町会

参加申し込みの方法

参加ご希望の方は、徳田会長・魚竹、小林幹事長・ハナヨシ、総務：小熊 までご連絡下さい
締め切り 2月28日（土）

蛎東椿会は、平成12年神田明神 大神輿渡御を運営した実行委員会から発展し、蛎東町会の祭礼に協力しながら会員相互の親睦を図る集まりで、昔からの江戸っ子から最近、越してきたばかりのにわか江戸っ子までが集うグループです。

URL:<http://tsubakikai.com/>